



## 令和8年1月「柏の集い」案内

### 宣言

天風会の目的は、いつも愛と誠の心を持って生き、お互いに思いやりの気持ちで助け合う兄弟姉妹の数を殖やし、それによって世界の真の平和を確立することである

天風会

### 新年あけましておめでとうございます。

お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今月のご案内は今年の思いを述べて新年案内文の言葉といたします。

今年は柏の集いが新しい名称となり7年目を迎えます。前身野田の集いは松本喜志男様、川鍋忠様が天風先生ゆかりの野田の地で会を発足、柏の集いとして通算35年目を迎えます。その間様々な行事、村上和雄筑波大学教授講演、帯津三敬病院名誉院長帯津良一先生講演、ガイヤシンフォニーの上映・龍村仁監督講演、そして昨年再度帯津良一先生講演会を実施して参りました。

年三回は本部講師による心身統一法講演会を実施、会員並びに地元一般の方に参加いただき心身統一法啓蒙活動を続けてきました。おかげ様で、柏に移り六名が新規に賛助会員になり、また一般参加者も増え毎月の行修会は20名ほどで研鑽を続けています。

地元の柏・東葛地区の組織として、天風先生の教えを学び啓蒙活動するには、今の20名から30名程の志を同じくする仲間が必要と考えています。今年度も年3回の心身統一法講演会を実施、新しい会員そして一般参加者を増やして魅力ある柏の集いに成長できるよう努力して参る所存です。

東京の会傘下組織として東京の会行事にも積極的参加して参りますので皆さまどうぞよろしくお願い申し上げます。

個人的には新しいことへのチャレンジ、神田紅塾で講談を楽しく学び講談が演じられるよう努力してまいります。

今月は柏市教育委員会の後援をいただき高島講師講演会を開催いたします。柏に初めての方はこの機会に是非ご参加いただきたくよろしくお願い申し上げます。

今月のご案内担当 藤本益久

## 【1月柏の集い高島講師講演会】

- 1, 日時・・・1月31日(土)
- 2, 場所・・・柏諏訪神社社務所(全席椅子席)
- 3, 講師・・・天風会講師 高島達美講師
- 4, 演題・・・心身統一法『神経反射の調節法・精神使用法』  
副題・〔揺るがぬ心で、力を最大限に発揮〕
- 5, 後援・・・柏市教育委員会
- 6, 定員・・・40名 参加費 1000円  
講演会終了後新年会実施・・・会費 男性3500円 女性3000円  
講演会、新年会申し込み・・・本メール返信  
又は、TEL 090 - 1117 - 0943 (藤本)

### 1, 《天風先生の言葉》

中村天風

#### 何をするときでもベストを尽くせ

ベストというのは、良いことに対して一心になって仕事をする事です。間違っても悪いことに対して一心に仕事をするのは、ベストを尽くすとは言わないんだよ。

※

古い話ですが、日本で出世頭といえば豊臣秀吉です。戦国乱世の身分がなければ出世もできなかった時代に、わずか、二十年足らずで天下の兵馬の権を手にした人です。誰もが知っている話ですから、あなた方もご存知のことと思いますけれど、あの人はどんな場合があっても、自分の仕事に対して誠心誠意で取り組んだ人です。草履取りのときは草履取りとしての仕事をまっとうし、大名になりゃ大名の仕事をまっとうする。いつも積極的な心で、誠心誠意でことに当たる。それが結局、あの人をして驚くべき出世成功をさせた第一根本義なんです。

織田家に仕えていた柴田勝家は、秀吉の出世を羨(うらや)んだわけではないんでしょうが、信長が秀吉を日の出の勢いで出世させるので、あるとき、それとなく忠告がましく、「いったい殿は、秀吉のいかなる点をお見込みになったのでござりましょうか」と勝家がこういった時、信長は、「あれはのう、なにをさせても一心じゃ、なにをさせても真心じや」つまり、「なにをさせてもベストを尽くす」というんです。草履取りをさせれば草履取りとしての本分をそつなくやってくれる。侍にすれば侍としても職分を乱さない。槍一筋を与えてやれば、与えられただけの職分を尽くす。大名にしてやれば、大名として抜きなく仕事をする。なにをさせても、「あれは嫌だ、これは嫌だ」と言うことなない。「どんなに卑しい仕事でも、尊い仕事と同じ気持ちでやってくれる人間を俺が見込まずにいられるか。おそらく俺亡き世の天下は、あの男が握るだろう」と勝家に言ったそうで

す。身分のない境涯から、たちまち日本六十余州の兵馬の権を手にするようになったのも、真心を失わない秀吉のがむしゃらなファイトがあったからです。……

こうした尊い事実を歴史にもっているお互い日本人、ちょっと考えたら、「俺だって秀吉みたいになれるんだ」という信念が出そうなものですが、それがそうはいかないんでしょうな。すぐに変な理屈をつけちまって、「俺なんか駄目だ」「俺はなにしろ、意気地がねえから」「ファイトなんか出ねえよ。この月給じゃ」なんて消極的の方面から自分の人生を考えちまう。だから、生まれながらに与えられているはずの積極性の根本で勇気というものが、くじけちまうんだ。勇気がくじけたら、人生への積極なんてものは出そうだって出やしません。……そこで「積極観念の養成法を」というのをお教えしよう。

以下積極的精神をつくる、積極観念養成法を教示……（詳細は本書）

#### 「積極観念養成法はたった五つ」

- 1, 自分の心の中を自分でじっと見てやる〔内省検討〕
- 2, 人の言葉に左右させるな〔暗示の分析〕
- 3, 他人（ひと）に対する態度はあくまでも積極的でいけ〔交人態度〕
- 4, 苦勞は厳禁〔取超苦勞厳禁〕
- 5, 常に正義を基にして自分自身を判断していく〔正義の実行〕

「信念の奇跡、第四章」



#### 《森信三先生の言葉・一日一語》

一月一日

「人生二度なし」

これ人生における最大最深の真理なり。

一月二日

つねに腰骨をシャンと立てること

これ人間に性根の入る極秘伝なり。

一月三日  
天下第一等の師につきてこそ  
人間も真に生甲斐ありというべし。

## 2、《ラジオ深夜便》

諏訪中央病院名誉院長

### 不運を幸運に変えて生きる

鎌田 實

「最も成功したものは必ずしも最も才能ある人ではなく、最も幸運な人である」  
2022年のイグノーベル賞を受賞した経済学論文は、こんな興味深い仮説をお導き出しています。イグノーベル賞は、人々をクスリと笑わせ、なおかつ深く考えさせる研究に与えられる賞です。なるほど！世の中にはすごく才能があるのに、日の目を見ない人がいるのに対して、才能はそこそこだけど脚光を浴びている人がいます。もちろん、ある程度の才能は大事だけれど、人生を左右するのは運のほうだというのは。とても納得できません。

#### 幸運の確率はけっこう高め

そもそも運とは何なのでしょう。「運なんて、ただの偶然。いいことも悪いことも起こる確率は五分五分だ」と思っている人も、けっこう多いのではないのでしょうか。実は、数学的にいいことが起こる確率は、半分よりも多い63パーセントになるそうです。その根拠となった計算は、二人がトランプのカードを13枚ずつ持ち、同時に1枚ずつ出していったとき、一度でも同じ数字のカードがそろった確率をはじき出したもの。それが63パーセントで、トランプのカードを増やしてもこの確率は変わりません。

これは、300年前の数学者ピエール・モンモールが「出会いの問題」として提示し、オイラーの定理で有名なレオハルト・オイラーによって解かれました。

ちょっと数字の話が続きましたが、「一度でもカードが一致する確率」は、人生に置き換えると「ラッキーな出会いがある確率」ということになり、それは半分よりけっこう多いということです。にもかかわらず、「運がない」という人が多いのはもしかしたら幸運のカードが出ているのに気づかないだけなのかもしれません。

十年ほど前にベストセラーになった『運のいい人の法則』(KADOKAWA)の著者リチャード・ワイズマンは、運のいい人は、運の悪い人に比べて「外交的」な人や、「開放的」な人が多いと述べています。たくさんの人に出会い、新しい出会いや新しい体験にもオープンマインドでいると、チャンスに出会う確率が高まるということなのでしょう。

また、運のいい人は、いい具合に肩の力が抜けているのだとか。ガチガチに身構えていたり、「もうけてやろう」とばかり考えていると、それ以外のことは眼中に入らず、せっかくのチャンスを見逃してしまうのだといいます。

## 不運は寝てやり過ごせ

そうは言っても、幸運が63パーセントなら、不運は37パーセントで起こります。生きていれば、いいときも、悪いときもあるのです。肝心なのは、不運なときにどうするか、ということではないでしょうか。ぼくは、生まれてからすぐに「不運」に見舞われました。実の両親が離婚し、いったんは父親が親権を取ったものの、その父親が再婚することになり、僕は養子に出されました。一歳八か月のことなぼく自身はまったく覚えていません。不運と言えば不運ですが、自分の人生を俯瞰（ふかん）してみると、養子としてむかえてくれた岩次郎さん夫婦に出会ったことは、僕にとって大きな幸運だったとおもいます。岩次郎さんは貧しく、子供に残すような財産も家業もありません。「好きなように生きる」と「自由」を与えてくれたからこそ、今のぼくがあります。

母親になってくれた人は重い心臓病であったため、家族で旅行することもありませんでした。子どものころは夏休みに海水浴に行ったという同級生がうらやましかったけれど、ぼくはぼくで図書館に通い、読書という楽しみと出会うことができた。これも幸運でした。

不幸な出来事があっても、それは変わっていく状況の一過程にすぎません。思うようにいかなかったり、人から嫌なことを言われても「不運健忘症」と架空の病名をつけて、次の朝には忘れてしまうのがぼくの特技。「大谷が打ったからまあいいか」「いい音楽を聴いて気分がいいから気にしない」とやり過ごしているうちに、不運は幸運に変わっていきます。

幸運か不運かは、たしかに人生を左右します。けれど、幸運の引き寄せは、思ったほど難しくない。そう、ぼくは楽観しているのですが……。

〔ラジオ深夜便11月号鎌田先生〕

## 《川柳》

減ってきた貯金体力妻の愛

(シルバー川柳)

そりゃないよ言われたとおりにやったのに

(女子会川柳)

めでたしや二人も受賞ノーベル賞

(時事川柳)

もう誰も「森のくまさん」歌えない

(よみうり文芸船橋・田中澄子)

待ってました！元気掛け声ありがたや

(神田紅塾生初講談・藤本益談)



神田紅塾・紅先生

## （武蔵の言葉）

### 「心は空なり」

宮本武蔵（剣豪）

圧倒的な存在感で日本史に燦然と輝く剣聖・宮本武蔵。13歳で兵法者の有馬喜兵衛に打ち勝って以降、諸国へ武者修行に出かけ、ただひたすら剣の実力を磨くだけに専念した。武蔵独特の二天一流も実践のなかで編み出された。武蔵は29歳まで勝負に一度も負けなかった。宿命のライバル・佐々木小次郎との巖流島の戦いはあまりにも有名だが小次郎に切り込む時に武蔵が言ったとされているのが、この言葉。

無策で挑むことこそ、無欲の勝利につながる。

頭ではそう思っているかもしれないが、度重なる命のやりとりを通じて武蔵は到達したようだ。直面している事態にただひたすら真摯に向き合うことこそが、一番の打開策であるということ。

（天才100人の言葉・真山知幸）



## 3、《人生100年時代の生き方》

作家 宮本輝

一遍、谷へ下りないと次の峰にはいけない

### 三十年付き合い続けたパニック障害

小説を書いている間、パニック障害はしょっちゅう起こっていました。なので、もう一生治らんのかなと思っていました。三十代半ばに、ものすごく発作がきつくなって、白い物と先の尖った物に恐怖を感じるようになったんです。原稿用紙、白いでしょう。万年筆、先が尖っているでしょ。もう仕事にならないんですよ。

それで知り合いの紹介で京都の精神科医に診てもらった。その方は僕の状態を気遣っ

て、わざわざ往診してくれたんです。僕の子供時代のことから一番悲しかった出来事、あるいは家庭の環境、いろんなことを聞いてくれて、結論は「典型的な不安神経症です」と。で、「モーツアルトもアインシュタインもそうでした」と天才の名前ばかりでてくる。「これは天才が罹る病気です。だから、これが治ったら、宮本さんは小説書けなくなります」と。「だけど、症状が起こった時は辛いですから、その時はこの薬を飲んでください」と言ってもらったのが、最初に会社の診療所の医者から処方された薬と同じものだったんです。

パニック障害が治ったと自覚したのは、六十二歳か六十三歳の時ですね。だから、三十年近く付き合ってきたわけです。

### 善いことが訪れるために必要な前段階

どうして自分はこんな病気に罹ったのか、小学生でも一人で電車に乗っているのに、いい歳して乗れない情けなさ。それから一日に何回、死の恐怖を感じるか、それが何十年続いてきたか。毎日死というものに直面してくると、なぜ五歳で死ぬ人と百歳まで生きる人がいるのか、その違いは何なのか、という死生観に行き着く。それが小説を書く上での土台をつくったと思います？ 発作が起きると分かっている電車に乗って、ものすごく勇気が要りますよ。その勇気はどこから出てくるとおもいます？

自然には出てきませんよ。自分の心から絞り出してくるんですよ。そうすると心の力のすごさを自覚せざるを得ない。**心の力がすべてを変えていくんです。**

それと、悪いことが起こるのは思いがけない善いことが訪れるために必要な前段階なんです。一つの山の頂上からさらに高い山へ登ろうという時に、直線の道はないですから、一遍その山を下りなければいけません。ただ、下りることがどれほど辛いことか、頂上にいる時には分からないんですよ。想像を絶したものがある。

だけど、そこでのたうち回りながらも乗り超えて、また麓から山頂に辿り着いた時に、やっぱり最初の時とは違う大きな境涯が培われていると思うんですよ。一遍、谷へ下りないと、次の峰には行けない。これが道理であり、僕の命そのものが感じたことですね。

柏の集いの皆様

ご支援の皆様

**新年あけましておめでとうございます。**

お元気に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

案内文巻頭文にて今年度の思いを述べさせていただきました。今年も一層精進して参りますのでどうぞよろしく願いいたします。

柏の集いでは昨年から、真人生の探究を毎月勉強しています。心身統一法の教科書ともいべき名著です。個人で読み、月一回皆で勉強いたしましょう。また、一般の方も増えてきました。新しい方には・・・①真人生の探究 ②中村天風のご自愛♡指南書この二冊をお読みいただくことを推奨いたします。

**1月**は高畠講師講演会並びに新年会を行いますので是非ご参加ください。

皆さま本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

令和8年1月1日 柏の集い代表 藤本益久

中村天風財団柏の集い連絡所 郵便番号277-0835 柏市松ヶ崎 1077-17 藤本 益久方

TEL, FAX 04-7133-2785 携帯：090-1117-0943 e/mail:spzb8ev9@diary.ocn.ne.jp

〈ホームページ検索：天風会柏の集い・・・日程、案内文掲載〉

## 千葉県・大洗海岸日の出

